

平成 27 年度

第 4 回雄物川水系渇水情報連絡会

気象状況について

平成 27 年 8 月 7 日  
秋田地方気象台

## 【天候のまとめ】（平成27年4月～平成27年7月下旬）

4月上旬、前半は低気圧や前線が短い周期で通過し、天気は短い周期で変化した。後半は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

4月中旬、はじめと19日は高気圧に覆われて晴れたが、その他の日は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

4月下旬、21日は寒気の影響により曇りや雨となったが、その後は、高気圧に覆われて晴れの日が続いた。28日は、大仙市で林野火災が発生した。また、29日は気温が上がり、鷹巣、大館、角館、大曲、東由利、横手で真夏日を観測するなど、15地点で4月として日最高気温の高い方からの1位を更新した。

5月上旬、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、4日と9日は低気圧や前線が通過した影響で曇りや雨となった。

5月中旬、高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。

5月下旬、低気圧や前線の影響で曇りや雨となる日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。29日は気温が上がり、大館、八幡平、男鹿、阿仁合、秋田、雄和、本荘で、5月として日最高気温の高い方からの1位の値となった。

6月上旬、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。

6月中旬、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、雨や雷雨となる日もあった。特に、17日は上空約5500メートルに氷点下12度以下の強い寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となって秋田市や仙北市では落雷で停電が発生し、また大雨で道路や線路が冠水するなど交通機関に影響があった。

6月下旬、前半は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、大気の状態が不安定となって雨や雷雨となる日もあった。後半は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。なお、秋田県を含む東北北部は6月27日ごろ（平年より13日遅く、昨年より21日遅い）梅雨入りしたと見られる。

7月上旬、はじめは低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨となる日もあったが、その後は、梅雨前線の影響は小さく、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

7月中旬、はじめは高気圧に覆われて晴れた。その後は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、前線や気圧の谷の影響は小さく、県南部を中心に降水量は少なかった。13日は気温が上がり、雄和、横手、湯沢では、7月として最高気温の高い方からの1位を更新し、雄和と湯沢では通年の1位も更新した。

7月下旬、前半は、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。後半は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。24日から25日にかけては前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大雨となったところがあり、25日は角館で日降水量182.5ミリを観測して7月として多い方からの1位を更新し、また、脇神で29.5ミリ、湯瀬で35.5ミリの日最大1時間降水量を観測し、それぞれ7月として多い方からの1位を更新した。31日は、能代、鷹巣、脇神、雄和で7月として日最低気温の高い方からの1位を更新した。なお、秋田県を含む東北北部は7月29日ごろ（平年より1日遅く、昨年より4日遅い）梅雨明けしたと見られる。

	旬平均気温	旬降水量	旬日照時間
4月上旬	「平年並」	「多い」～「かなり多い」	「平年並」～「多い」 県南部で少ない所もあった
4月中旬	「平年並」～「高い」	「多い」～「かなり多い」	「少ない」
4月下旬	「高い」～「かなり高い」	「少ない」～「かなり少ない」	「かなり多い」
5月上旬	「高い」～「かなり高い」	「少ない」～「かなり少ない」	「多い」～「かなり多い」
5月中旬	「高い」	「平年並」～「多い」 県南部では少ない所もあった	「平年並」～「少ない」 県南部では多い所もあった
5月下旬	「かなり高い」	「少ない」～「かなり少ない」	「かなり多い」
6月上旬	「平年並」～「低い」 県北部では高い所もあった	「平年並」～「少ない」 県南部で多い所もあった	「平年並」
6月中旬	「高い」～「かなり高い」	「平年並」～「少ない」 内陸ではかなり少ない所もあった	「多い」
6月下旬	「平年並」～「低い」	「平年並」～「多い」	「平年並」～「多い」
7月上旬	「平年並」～「低い」 沿岸の北部では、 かなり低いところもあった	「かなり少ない」	「多い」～「かなり多い」
7月中旬	「高い」～「かなり高い」	県北部は 「平年並」～「少ない」 かなり少ない所もあった 県南部は 「少ない」～「かなり少ない」	「平年並」～「多い」
7月下旬	「高い」	「多い」～「かなり多い」 県南部では「平年並」の所もあった	「平年並」～「少ない」

## 平成27年度 洪水予報発表実績

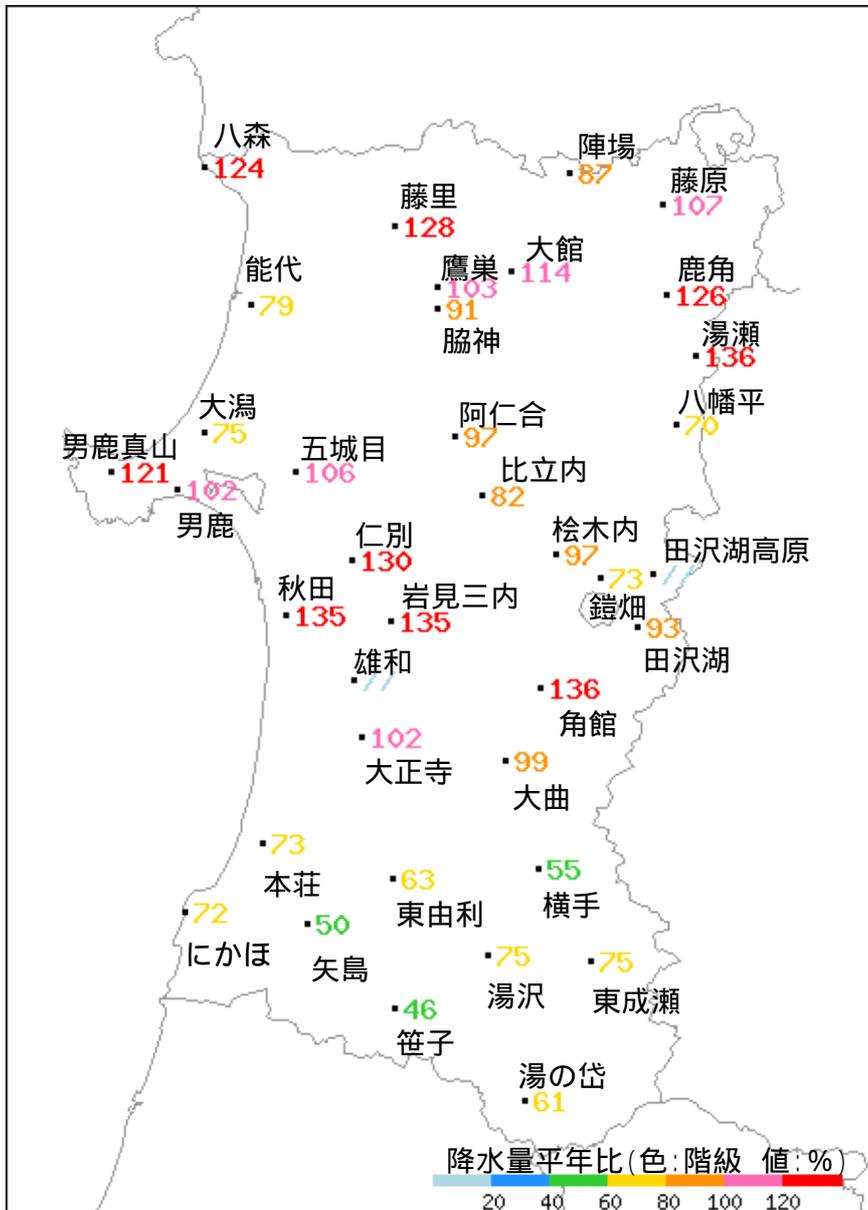
予報区域名	発表番号	発表日時		標題
子吉川	1	4月3日	18時00分	子吉川はん濫注意情報(洪水注意報発表)
	2	4月3日	21時30分	子吉川はん濫注意情報
	3	4月4日	2時50分	子吉川はん濫注意情報
	4	4月4日	4時00分	子吉川はん濫注意情報解除(洪水注意報解除)
米代川	1	4月3日	19時50分	米代川はん濫注意情報(洪水注意報発表)
	2	4月3日	22時10分	米代川はん濫注意情報
	3	4月4日	3時30分	米代川はん濫注意情報
	4	4月4日	8時30分	米代川はん濫注意情報
	5	4月4日	10時55分	米代はん濫注意情報解除(洪水注意報解除)
米代川	1	7月25日	13時20分	米代川はん濫注意情報(洪水注意報発表)
	2	7月25日	15時40分	米代はん濫注意情報解除(洪水注意報解除)
玉川	1	7月25日	15時55分	玉川はん濫注意情報(洪水注意報発表)
	2	7月25日	19時15分	玉川はん濫注意情報解除(洪水注意報解除)

【平成27年 梅雨入りと梅雨明け】 (後日、変更になることがあります)

梅雨入り 6月27日ごろ(平年6月14日ごろ)

梅雨明け 7月29日ごろ(平年7月28日ごろ)

平成27年の梅雨期間(6月27日～7月28日)の降水量の平年比



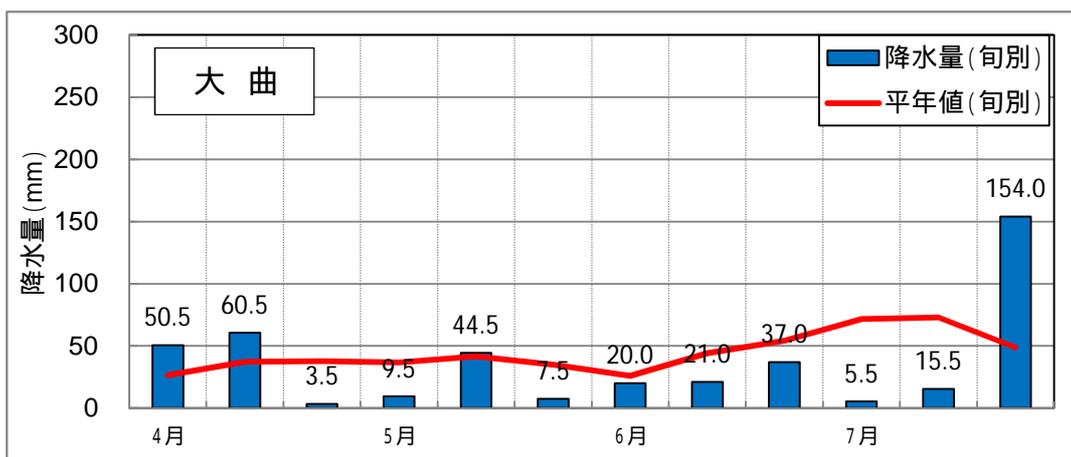
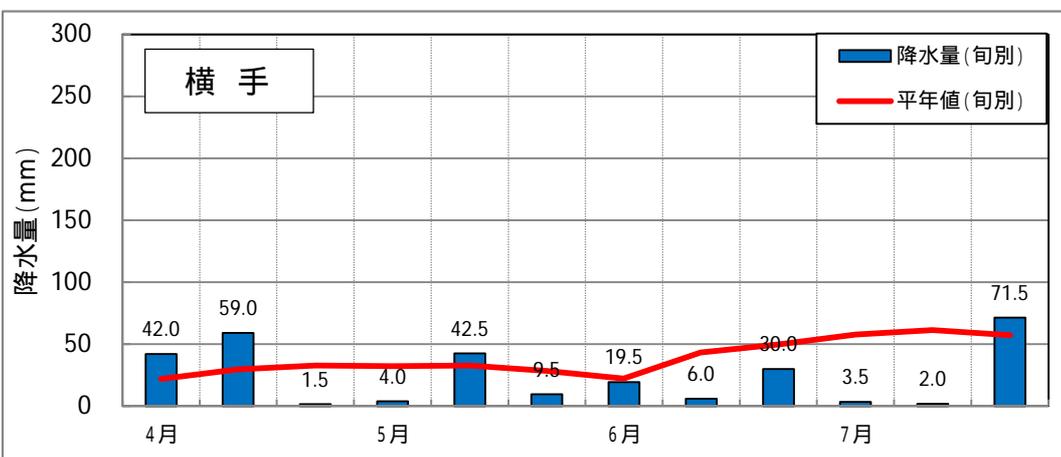
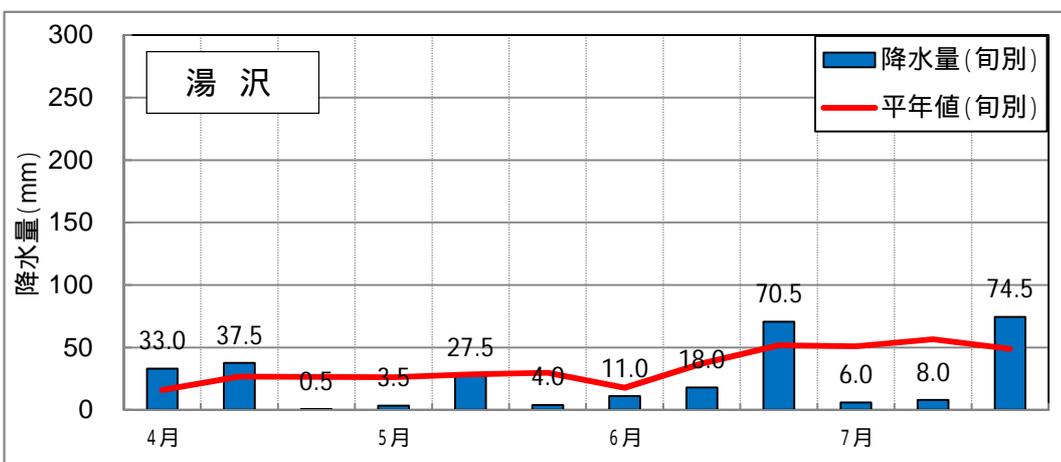
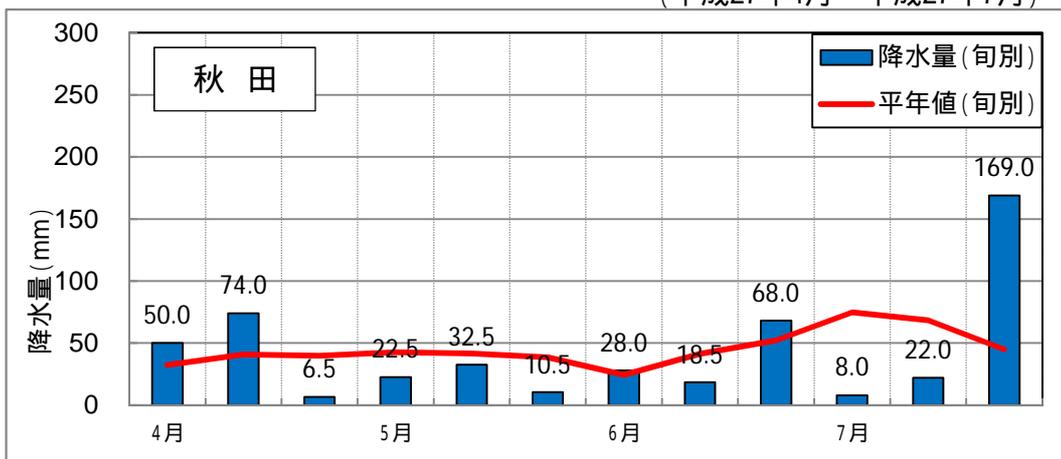
地点名	実況値	平年値	平年比(%)
八森	226.0	181.6	124
藤里	357.0	278.8	128
陣場	228.0	261.5	87
藤原	236.5	220.4	107
能代	132.5	168.2	79
鷹巣	221.0	214.6	103
大館	240.5	211.6	114
鹿角	229.0	182.3	126
脇神	198.0	217.8	91
湯瀬	242.5	177.9	136
八幡平	154.0	220.2	70
男鹿真山	219.0	180.4	121
男鹿	175.0	171.4	102
大湯	113.0	151.6	75
五城目	191.0	179.8	106
阿仁合	210.0	216.9	97
比立内	203.5	246.8	82
比立内	203.5	246.8	82
榎木内	289.5	299.5	97
秋田	266.0	196.8	135
岩見三内	340.0	251.7	135
仁別	376.5	289.6	130
仁別	376.5	289.6	130
雄和	240.5	//	//
雄和	240.5	//	//
角館	351.0	258.4	136
田沢湖	264.5	283.4	93
大正寺	219.0	214.2	102
大曲	201.5	204.1	99
本荘	139.5	191.1	73
東由利	124.5	197.1	63
横手	101.0	182.9	55
にかほ	119.5	166.6	72
矢島	95.5	190.0	50
矢島	95.5	190.0	50
湯沢	124.0	166.1	75
湯沢	124.0	166.1	75
東成瀬	143.0	190.8	75
湯の岱	139.0	229.4	61
湯の岱	139.0	229.4	61
田沢湖高原	343.5	//	//
田沢湖高原	343.5	//	//
雄和	240.5	//	//
雄和	240.5	//	//
角館	351.0	258.4	136
田沢湖	264.5	283.4	93
大正寺	219.0	214.2	102
大曲	201.5	204.1	99
本荘	139.5	191.1	73
東由利	124.5	197.1	63
横手	101.0	182.9	55
にかほ	119.5	166.6	72
矢島	95.5	190.0	50
湯沢	124.0	166.1	75
湯沢	124.0	166.1	75
東成瀬	143.0	190.8	75
湯の岱	139.0	229.4	61
湯の岱	139.0	229.4	61

凡例

D	正常値	D]	資料不足値
--	現象なし	X	資料なし
D)	準正常値	//	平年値なし

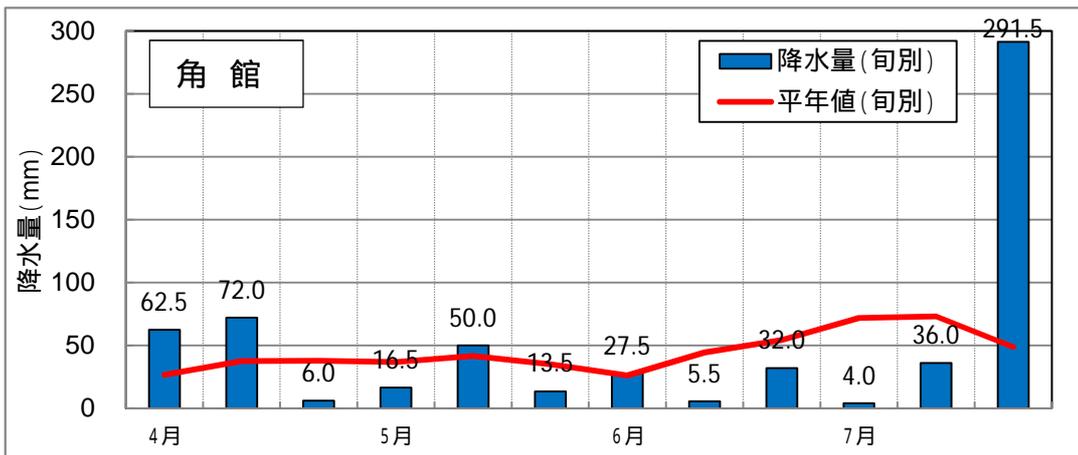
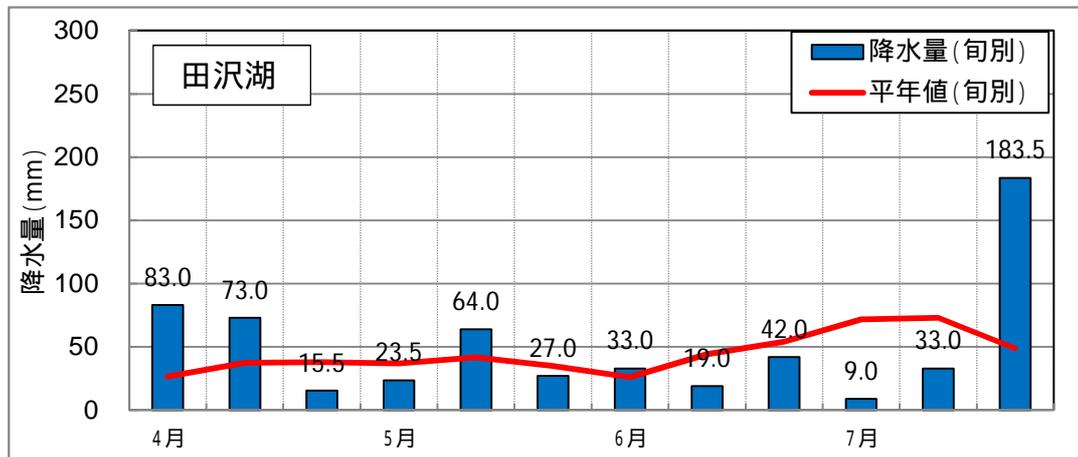
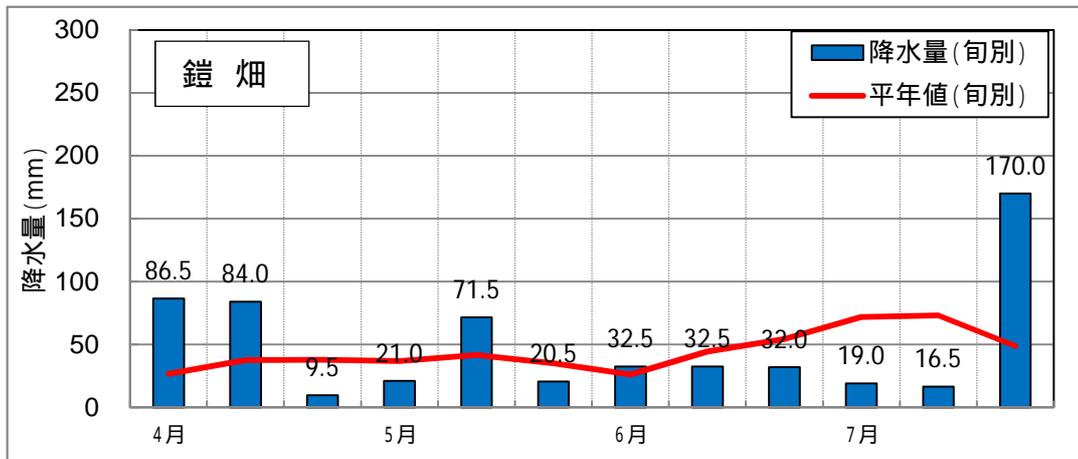
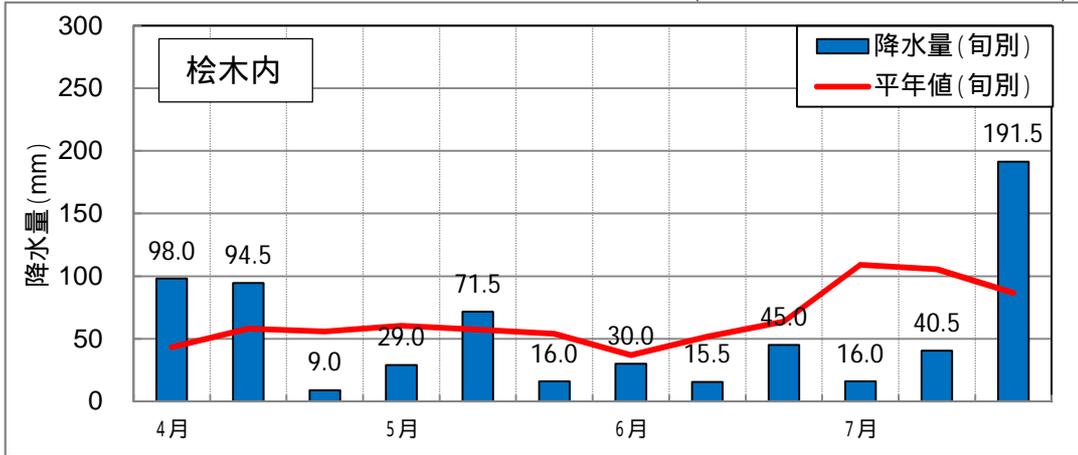
# 雄物川流域の降水量の状況(アメダスデータ)

(平成27年4月～平成27年7月)



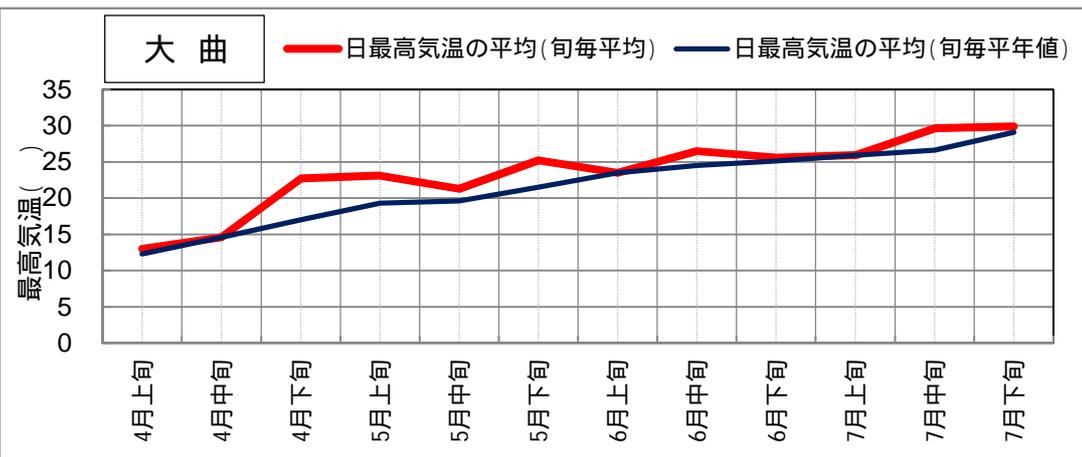
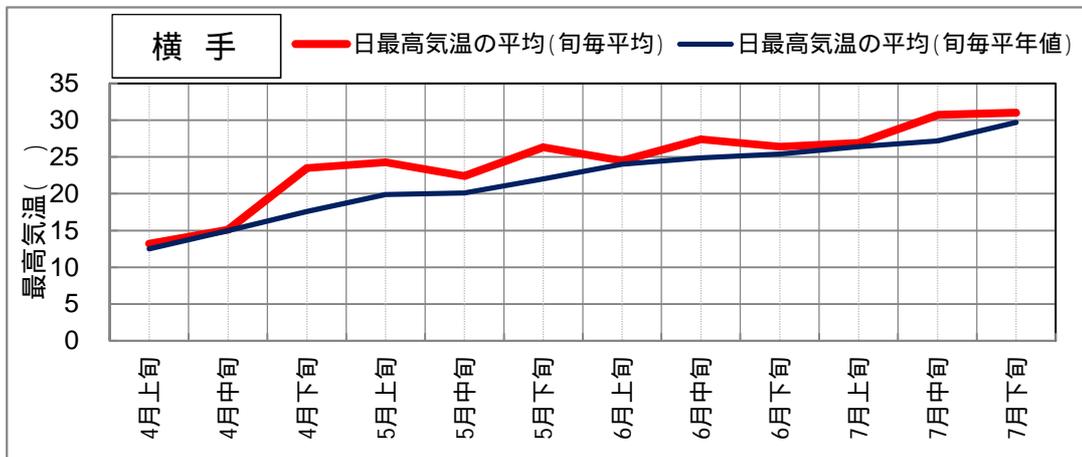
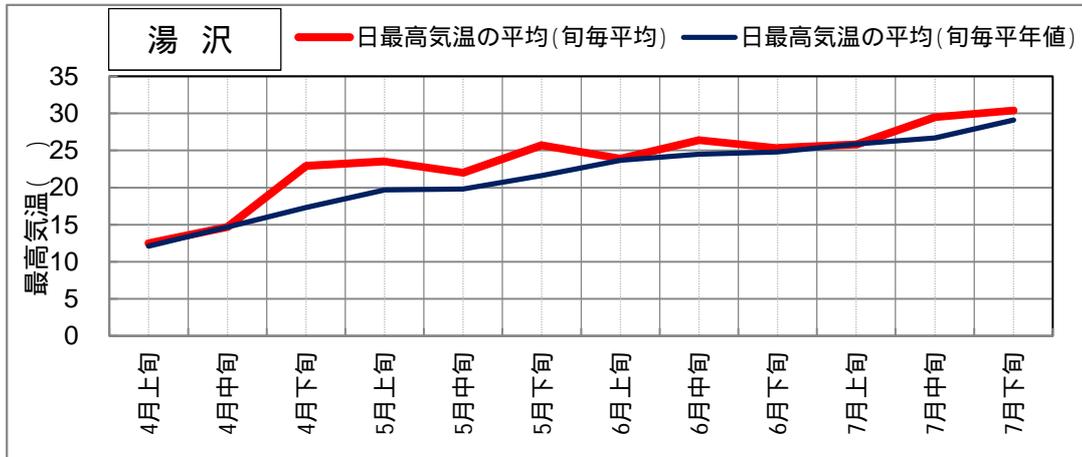
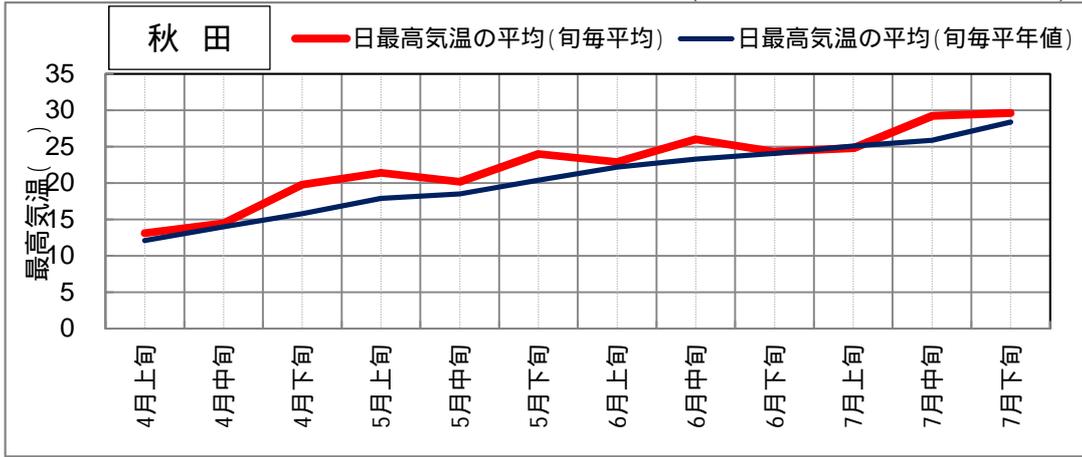
# 玉川流域の降水量の状況(アメダスデータ)

(平成27年4月～平成27年7月)



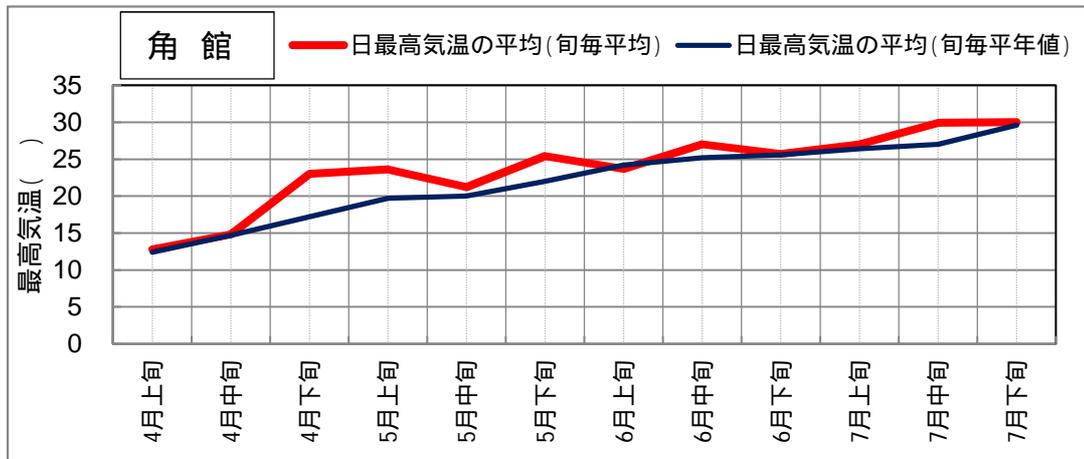
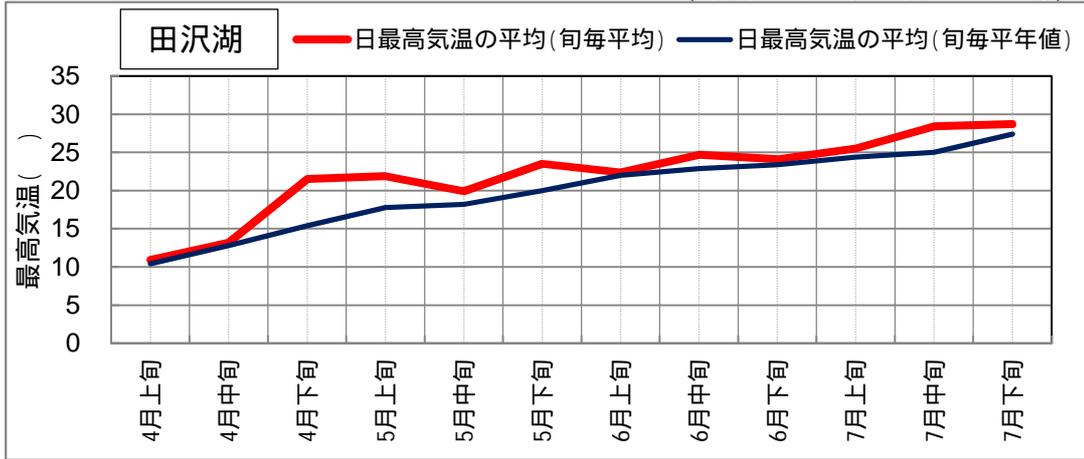
# 雄物川流域の最高気温の状況(アメダスデータ)

(平成27年4月～平成27年7月)



# 玉川流域の最高気温の状況(アメダスデータ)

(平成27年4月～平成27年7月)



# 東北地方 1か月予報

(8月8日から9月7日までの天候見通し)

平成27年8月6日  
仙台管区气象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北南部を中心に、期間の前半は降水量の少ない状態が続く見込みです。

## <予想される向こう1か月の天候>

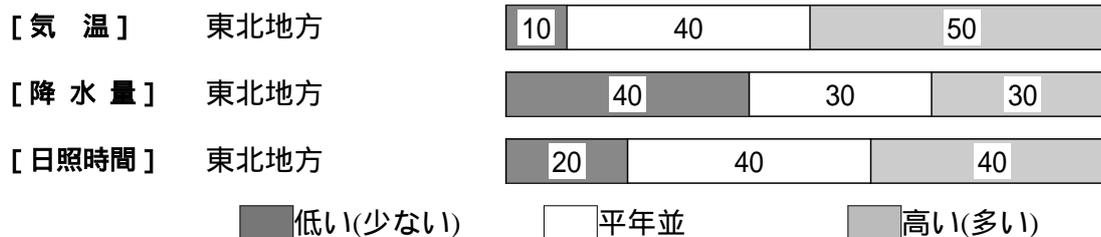
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

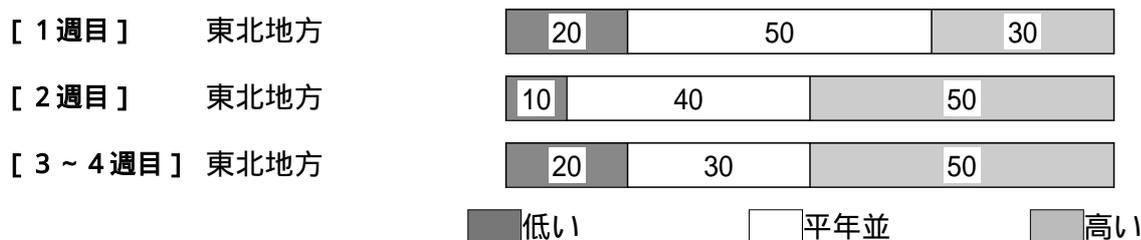
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 8月8日(土)～9月7日(月)  
1週目 : 8月8日(土)～8月14日(金)  
2週目 : 8月15日(土)～8月21日(金)  
3～4週目 : 8月22日(土)～9月4日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週木曜日 14時30分 次回は8月13日  
3か月予報 : 8月25日(火) 14時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

( 1 ) 30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温( )		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	22.7	125.7	175.1	23.7	23.2	22.3
深浦	22.7	168.1	174.8	23.6	23.3	22.3
むつ	21.3	152.3	140.2	22.1	21.7	21.0
八戸	22.0	141.4	159.4	22.8	22.4	21.7
秋田	24.3	179.1	187.7	25.3	25.0	23.8
盛岡	22.7	185.7	142.7	23.9	23.4	22.2
大船渡	22.6	204.6	140.2	23.3	23.0	22.3
宮古	21.8	175.1	152.6	22.5	22.2	21.5
仙台	23.7	167.6	138.7	24.4	24.1	23.5
石巻	23.1	120.2	161.8	23.7	23.5	22.9
山形	24.2	148.8	169.4	25.3	24.8	23.7
新庄	23.4	169.2	162.4	24.6	24.1	22.9
酒田	24.7	187.4	198.0	25.7	25.4	24.3
福島	24.8	149.7	143.7	25.7	25.2	24.4
若松	24.4	134.9	187.1	25.4	25.0	23.9
白河	23.0	216.1	140.1	23.9	23.4	22.6
小名浜	24.0	137.2	179.0	24.2	24.2	23.9

気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

( 2 ) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.6	75～118	92～109
東北日本海側	-0.5～+0.7	76～106	93～108
東北太平洋側	-0.5～+0.7	74～115	91～108

( 3 ) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6～+1.0	-0.6～+0.8	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.6～+1.0	-0.5～+0.8	-0.4～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+1.0	-0.6～+0.8	-0.5～+0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

- ( 1 ) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- ( 2 ) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- ( 3 ) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。